

キャラバン隊イベント企画書（'04 10/17 名古屋）

安全・安心な子どもたちの未来のために 愛知大会

企画（案）

主 催：ストップガンキャラバン隊

後 援：警察庁、（財）社会安全研究財団、（財）全国防犯協会連合会、名古屋市教育委員会
中日新聞、朝日新聞、名古屋テレビ、中京テレビ、愛知大学など（予定）

協力： Y O S H I の会

と き：平成 16 年 10 月 17 日（日）14：00～16：30

と ころ：愛知大学 車道校舎 コンベンションホール（3F）

定 員：330 名 参加無料

対 象：一般（中学生、高校生、大学生、社会人）

趣旨：銃器によって最愛の我が子を奪われた日本と米国の父親が、銃暴力に挑んだ歳月を語る。
「安全な社会は自ら動き、創り出していくもの」と若い人達に伝えたい。
さらに米国の留学生に日米の文化と安全について語ってもらい、安全とは何か、中高生達が考える場を提供したい。

開催概要

14:00～14:05	主催者あいさつ 砂田 向壱（ストップ・ガン・キャラバン隊代表）
14:05～14:20	「銃を取り巻く現状報告」 鈴木久行（愛知県警本部銃器薬物対策課指導企画担当）

第 1 部

14:20～15:05	砂田向壱「父の闘い～銃器製造責任訴訟米国裁判史上初の勝訴原告団唯一の外国人」
15:05～15:15	休息

第 2 部

15:15～15:35	Y O S H I 基金生挨拶 Mr. Cory D. Howell
15:35～15:40	ホーリングフォーコロンバイン（ダイジェスト版）上映
15:40～16:25	Mr. Tom Mauser「コロンバイン高校事件と米国の闇」（仮題） 講演 15分、質疑応答 30分
16:25～16:30	終了あいさつ

出演者紹介

砂田向壱	ストップガンキャラバン隊代表。1994年、ニューヨークにて子息を射殺される。その後、刑事裁判を経て、民事裁判では、銃器メーカーと販売会社に、銃による殺傷事件の製造販売責任を認めさせ勝訴。
Tom Mauser	1999年、コロラド州デンバー郊外のリトルトンにあるコロンバイン高校で2人の高校生により子息を射殺される。映画「ホーリングフォーコロンバイン」に出演している。コロンバイン高校事件の関係者ネットワークの中心となって活動をしている。
鈴木久行	愛知県警察本部銃器薬物対策課 指導・企画担当課長補佐
Cory D. Howell	2004年度 YOSHI 基金生（第11回生）
梶原寿	通訳担当 中部学院大学教授
坂東弘美	フリーランスアナウンサー 総合司会担当